

大崎町出身選手に郷土の贈り物！



大崎町から全国・世界へ！



▲役場を表敬訪問された福留孝介選手

2月16日から22日まで宮崎市のサンマリンスタージアムでワールドベースボールクラシック(WBC) 日本代表候補合宿に参加された、アメリカ大リーグ、シカゴ・カブスの福留孝介選手が、2月19日(木)、合宿の休養日を利用して大崎町役場を表敬訪問されました。

福留選手は「日本代表に入り、ふるさとの子どもたちの目標とされる選手になりたい。今回はスケジュールが合いませんでしたが、今度帰ってきたときは、小学校や中学校を訪問したい。」と話されました。

東靖弘町長は「大崎町からこんなに素晴らしい選手が活躍していることを大変誇りに思います。福留選手が代表入りし、大崎町にとって元気の出るニュースになることを心から願っています。」と激励し、地元大崎町で採れたデコポンや地元企業の焼酎などが贈られました。

また、2月14日(土)には、大崎ソフトボールスポーツ少年団の児童らが、日南市の広島カープのキャンプに参加している松山竜平選手と、南郷町の西武ライオンズのキャンプに参加している赤田将吾選手に面会し、町長から託された激励品を贈呈。最後には両選手と記念撮影を行いました。児童らも大変喜んでいました。

松山選手は1軍でキャンプインし、打撃も好調だったようです。しかし、ベースランニング中に左足を



▲子ども達と記念撮影をする松山竜平選手



▲激励品を手にする赤田将吾選手

痛め、現在もリハビリ中のようでしたが、真っ黒に日焼けし、たくましい表情でした。5、6月の完全復帰を目指して、ウエイトトレーニングなどを行っているようです。

赤田選手は、この日の紅白戦DH1番で先発。こちらも日焼けし、自信に満ち溢れた表情でした。また、赤田選手の小学校時代の担任でソフトボールの指導をしていた狩集先生も激励に見えていたようです。

大崎町から全国・世界へ挑戦している選手の皆さん。子ども達に夢を与えられるような選手として、これからも頑張ってください。